

熱量の高い仲間と

刺激を与え合える

北川 冬弥



【経歴】

山形大学にて音響信号処理を専攻。卒業後、パナソニック株式会社に入社し、技術本部で空間音響の研究開発に従事。同時に同大学院博士課程に進学し、社会人ドクターとしても音響の研究を行っている。

【現在の研究】

パナソニック社では、リラックスできたり効率的に仕事ができる空間について検証する研究の中、サウンドアプローチを担当。山形大学では、イヤホンへの付加価値として、立体音響を用いたナビゲーションシステムの検討を行っている。



IEEEに入会したきっかけは？

最初は学生時代に、IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE) という国際会議に参加するのに割引を受けるために入会しました。

入会后、IEEE TOWERSという、学生中心に交流している団体のイベントに参加してみたのが、積極的にIEEEの活動に参加するようになったきっかけです。TOWERSのイベントは、形式は他の学会にもあるような感じのポスターセッションでしたが、既発表論文でも良い上に表彰もあるという点に惹かれました。学生時代に、自分の研究に意見をもらえるのは貴重な経験ですから。

実際に参加してみると雰囲気が高く、積極的な発言も飛び交っていて、すごく面白かったのを覚えています。自分の専門分野以外の人達と交流できるのも、とても有意義でした。

TOWERSに関わっている先生方が、楽しんで活動を行っている感じがしたのも新鮮でした。

IEEEでの現在の活動は？

若手研究者グループであるYP (= Young Professionals) の仙台地区でのコミュニティを新しく立ち上げ、その指揮をとっています。TOWERSは東京の組織で、イベントも上京して参加していたのですが、こうした熱いリアルな集まりを東北の学生にも味わってもらいたいと思い、仙台での設立を決意しました。

最近はオンラインイベントも増えていて便利になっていますが、オフラインもオンラインと同じくらい大事だと思うのです。私がIEEEの活動を牽引されている先生方とつながりを持てたのは、東京に出向いていったからで、実際に仙台YP立ち上げの話が進んだのも、イベント後の懇親会の場でした。Face to Faceで顔を合わせ、雑談をする。それができる場をひろげ、後輩たちにどんどん引き継いでいきたいと思い、活動しています。

IEEEの魅力は？

『循環するサポート』

IEEEには、「やりたい」と声をあげればサポートしてくれる方々が大勢います。私自身も多くの支援を受けられているからこそ、活動できています。仙台YPの設立も、新しい組織を作るのは初めてで、わからないことだらけでしたが、東京でつながった先生方や仙台地区の方がすごく協力してくださり実現できました。

こうして、一歩踏み出せばチャレンジさせてもらえ、サポートも得られる環境があるのが、IEEEの素晴らしいところだと感じています。

私はお世話になっている先生方への感謝の気持ちを、後輩を支援することで返していけたらと思います。若手研究者を支援する場作りを積極的に行っています。若い研究者の活躍の場がひろがれば、世の中が豊かになることにつながり、良い循環になっていくでしょう。

『会社でも大学でもない、仲間に出会える場所』

私は今、会社員として働きながら、大学院の博士課程にも在学していますが、IEEEはプライベートな時間に気軽に楽しむこともできる場だと感じています。同じ志を持ち、新しい企画を出す。そんな仲間に出会えるのが魅力的なのです。年上の先生方も後輩もいる中で、いかに円滑なコミュニケーションを取って進めていけるか考えることで、自分を人間的に成長させることもできます。

IEEEを勧める理由

新しい技術の開発のためには研究室にこもっているだけでなく、外の世界に出て社会のニーズを掴む必要があります。特に私のような、消費者に向けた商品の開発に関わる者は、研究の出口を意識しなければなりません。IEEEには色んな分野の研究者、それも様々な大学の先生や様々な企業の方が居て、交流することができるので、出口を探す場として適していると思います。自分の専門分野以外の方の意見が聞けるからこそ、「今世の中では何が流行っているのか」「消費者にはこういうものが受け入れられる」というのが見えてきます。

大きな刺激を得られるので、研究者を続ける限り、私はIEEEとか関わっていききたいし、他の研究者にも勧めたいです。

【メッセージ】

～「IEEE」を共通言語に、かけがえのない仲間を作ろう～

自分の夢やビジョンは、自分が思い描いているだけでは実現しません。色々な人に発信し、共感してくれる仲間ができることで、実現の可能性が増えていく。そんな仲間に出会えるのがIEEEです。「IEEE」という共通のバックグラウンドがあるだけで話が盛り上がり、そうしてできた仲間には、仕事で悩んだときに相談できたり、お互いに刺激を与え合ったりすることができます。

私は特に、これからの未来を一緒に作っていける若い研究者の仲間を増やしていきたいので、興味を持ってくださった方はぜひ気軽に連絡していただきたいです。就活中の学生さんからの連絡も歓迎です。ぜひつながりましょう！



URL

<https://ieee-jp.org/about/voice.html>

